

寛 永 年 間

1640年頃 白糠場所開設により、美幌はその場所に属す。

文 化

4年(1807) 大塚惣太郎網走越えの山道（白糠～阿寒～美幌～斜里）を開き、馬を東えぞから西えぞに送る。

6年(1809) 荒井保恵著東行漫筆に「ピポロ」の文字現れる。

安 政

5年(1858) 松浦武四郎山川地理調査のため美幌を通過。

明 治

2年(1869) 蝦夷を北海道に改め11国86郡に区分、美幌は釧路国網尻郡となる。

4年(1871) 初の土人家数並人別調によると18戸101人が6か村に散在。

8年(1875) ビホロ村を美幌村、ケネタンベ村を杵端辺村、フレメム村を古梅村等漢字に改む。

15年(1882) 北海道は3県に分割され、根室県網走郡美幌外5か村になる。

18年(1885) 活汲村に旧土人救済事務所を設置。

20年(1887) 元町に美幌外5か村戸長役場設置、和人として初代戸町、野崎政長初めて定住。

30年(1897) 美幌、木禽、活汲の各原野測量される。

31年(1898) この年より入植が始まり、各原野開拓。

33年(1900) 最初の総代人を選び、村費を賦課。美幌簡易教育所を開く。美幌駅通設置。村医を嘱託。戸数約50戸。

36年(1903) 市街地の外杵端辺・津別・鬮木禽3原野に区画設定。美幌外5か村農会・納税組合設立。役場を市街地に移す。

37年(1904) 美幌神社を建立。3等郵便局事務開始。

39年(1906) 仮道県道網走～陸別間工事完成、交通便利になる。

40年(1907) 古梅、津別両駅通新設。牛馬組合支部結成。美幌～古梅間道路完成。

42年(1909) 美幌郵便局に電信・電話線架設。競馬場を設ける。

44年(1911) 各部落に部長制を定める。火災予防組合設立。

大 正

元年(1912) 池田～網走間鉄道開通。この頃より移住相次ぐ。人口5,843人。

4年(1915) 2級村制施行、美幌村となる。人口8,843人。農業1,453戸、商業249戸、工業39戸、その他341戸

6年(1917) 美幌市街に火力発電による灯がつく。造田はじまる。

8年(1919) 津別村（活汲・達媚・鬮木禽）を分村。人口10,446人。

9年(1920) 美幌峠の道路完通。網走川大出水。製麻工場開始。

11年(1922) 網走川大出水。造田熱盛ん土功組合次々誕生。

12年(1923) 1級町制施行、美幌町となる。市街大火87戸焼失。

13年(1924) 産業組合設立。相生線美幌～津別間開通。

15年(1926) 商工会設立。警察署に昇格。市街大火81戸焼失。

昭 和

2年(1927) 美幌実科女学校創立。

3年(1928) 各地に農事実行組合設置

7年(1932) 全町の区長設置。

9年(1934) 美幌峠を含む阿寒一帯国立公園に指定を受ける。

12年(1937) 字名改称（現行）。開基50年記念祭挙行。美幌町史刊行。

13年(1938) 田中台地に海軍航空隊施設工事着工。

- 14年(1939) 美幌農林学校開校。
- 15年(1940) 都市計画区域として指定を受ける。
- 16年(1941) 網走川出水被害。国営牧野をモコト山麓に設置。
- 18年(1943) 国民健康保険組合発足。
- 19年(1944) 農業団体一元化により農会、産業組合を統合し、農業会設立。美幌保健所設置。
- 21年(1946) 高野地区が女満別町より編入。
- 22年(1947) 役場庁舎現敷地に移転。美幌中学校、都橋小学校開校。国立療養所開設。
- 23年(1948) 農協及び開拓農協発足。
- 24年(1949) 消防本部及び消防署開設。国民健康保険病院設立。
- 25年(1950) 町立美幌高校を農林学校に統合。下水道事業町営開始。
- 26年(1951) 自衛隊(旧警察予備隊)駐屯。東陽小学校開校。
- 27年(1952) 美幌商工会議所設立。美幌図書館開館。広報びほろ発刊。
- 28年(1953) 全町に区制をしく。町制施工30年記念事業実施。
- 32年(1957) 都市計画区画整理事業はじまる。乳牛千頭祭執行。
- 33年(1958) 全町に納税組合設立。陸上自衛隊施設隊移駐。
- 34年(1959) 公益質屋開業。日甜美幌工場操業。
- 35年(1960) 役場現庁舎落成。北中学校開校。
- 36年(1961) 全町に区保健福祉会結成。美幌保育園開園。
- 37年(1962) 全国優良町村及び優良議会受賞。町内全小学校に屋内体操場完成。農業構造改善事業指定。
- 38年(1963) 老人クラブ開設。クレードル工場操業。
- 39年(1964) 美富団地完成。美幌町総合計画策定。学校給食センター開始。桜通舗装。
- 40年(1965) 食肉センター落成。農業学園設置。地籍調査はじまる。運動公園に野球場、プール完成。合理化澱粉工場操業。美幌ユースホテル落成。津別町と衛生事業組合設立。
- 41年(1966) 町立国民健康保険病院全館新築。学童プール完成。
- 42年(1967) 社会教育センター開設。中学校統合完了。美幌町議会史発刊。開基80年記念事業実施。運動公園に樹木園造成。町民憲章、町旗制定。
- 43年(1968) リンナイチャシ展望台復元。美津衛生センター(し尿処理)操業。栄森小学校落成。美幌都市計画用途地域指定。
- 44年(1969) 美幌町体育会館落成。栄通り舗装。101特科大隊移駐。都市計画区域変更。
- 45年(1970) 広域火葬場設置。仲町保育所新築。穀物調整工場操業。
- 46年(1971) スポーツセンター完成。北保育所新設。旭団地造成。駒生農道完成。林業構造改善事業着手。防事務組合発足。
- 47年(1972) 体育会館を町民会館に名称変更。警察庁舎落成。ゴミ焼却施設完成。
- 48年(1973) 道立美幌農業機械化研修所落成。第2次農業構造改善事業着手。下水道事業着手。
- 49年(1974) 字名一部改正。消防庁舎落成。緑化計画推進。
- 50年(1975) 駒生小学校廃校。S L廃止。みとみ公園新設。都市計画区域拡大。
- 51年(1976) 第2次林業構造改善事業着手。特別養護老人ホーム「緑の苑」オープン。網走川河畔公園完成。美園団地造成。
- 52年(1977) 東陽保育園完成。職業訓練校新築。上下水道拡張工事着工。美小校にプール新設。開基90年記念式典挙行。
- 53年(1978) 老人憩の家完成。仲町かんがい溝にふた完成。国営草地開発事業に着手。国営かんがい古梅ダム本体工事に着手。言語障害治療教室新設。美幌高校普通科分離開校。
- 54年(1979) 福祉バス運行開始。郷土資料館オープン。ボランティアハウス建設。特別養護老人ホーム「緑の苑」増築ベット数80床に。美園季節保育所開所。田中へき地保育所新築。美幌叢書発刊。図書館新築。

55年(1980) 美幌峠太鼓同好会発足。母と子の家建設。中小企業振興条例制定。第1回観光牛肉まつり開催。身体障害者家族奉仕員配置。

56年(1981) 道立美幌保健所新築。寝たきり老人入浴サービス開始。びほろ霊園整備事業着手。初のクッシーまつり開催。中川寿清氏、山内正雄氏、故糺庄二氏初の名誉町民となる。公共下水道10月から供用開始。

57年(1982) 旭小学校開校。コミュニティセンター建設。道立美幌農業高校改築。公営住宅中層化建替えに着手。

58年(1983) なかまち緑道造成。河畔球技場・野球場造成。幼児ことばの教室開設。美幌幼稚園移転改築。

59年(1984) 字名一部改正。三橋南団地改築。新農業構造改善事業に着手。オホーツク版画教育研究大会開設。

60年(1985) 栄森小・登栄小廃校。国鉄相生線廃止。美幌峠牧場オープン。栄森自然の家、東陽小学校改築オープン。

61年(1986) 美幌保育園移転改築。青山橋(131)架け換え。教育専門相談員配置。みどりの村建設に着手。交通記念館オープン。第3期美幌町総合計画策定。あおやま南公園完成。ゴミ埋立処分施設建設着手。

62年(1987) 第1回全国ハンググライディング大会開設。第1回ビホロ100kmバイアスロン大会開催。開基100年記念式典。美幌博物館・美幌農業館完成オープン。

63年(1988) 美幌コンピュータ専門学校落成開校。勤労者体育センターオープン。美幌林業館オープン。スカイダイビング大会開催(美幌CUP'88スカイダイビング・ブギ)。労働会館オープン。古梅ダム完成。

平成

元年(1989) 焼肉ハウスびほろ(みどりの村休憩施設)オープン。美幌小学校改築着手。豊岡小学校廃校。北見東京電波(株)美幌工場完成。

ウルトラライトプレーン(U L P)操縦資格取得スクール開校。第4回日本スカイダイビングRW選手権大会開催。

2年(1990) 古梅小学校廃校。みどりの村森林公園オープン。北海道東部情報センター設立。パラグライダー東北海道ジャパンオープン開催。小惑星に美幌と命名。美幌小学校改築オープン。

3年(1991) 都橋小学校廃校。デイ・サービスセンター完成。B & G財団海洋センター操業。NHK君の名はロケ。北海道スポーツフェアイン美幌開催。渡辺製作所操業。グリーンビレッジ美幌完成。

4年(1992) 道々美幌トンネル開通。日並小学校廃校。(協)大通北1丁目商店街設立。学童保育所開設。美幌消費者協会設立。みどりの村ジャンボすべり台、壁泉、わんぱくの塔完成。'92スカイレジャーフェスタ美幌開催。美幌ふるさと祭り開始。よふき新工場完成。台風17号出水被害。国営地開発事業竣工。美富団地建替工事着手。スパイクタイヤ使用禁止指定地域となる。

5年(1993) 役場週休2日制導入。日・ロ友好コンサート開催。第4期美幌町総合計画着手。'93美幌カップエンデューロ開催。美幌経済センター竣工。日フィルと第九を歌うコンサート開催。テレホンガイドサービス開始。

6年(1994) 中学生海外派遣研修でニュージーランド訪問。女性消防団結成。消費者生活相談開始。第1回コミセンまつり開催。東京電波美幌工場第3工場を建設。インバネス市から初の来町。びほろデパート解体。北中学校校舎完成。美幌ニュージーランド友好協会設立。望岳苑斎場完成。

7年(1995) 名誉町民に三上勇氏。温泉利活用施設工事着工。美幌駐屯地存置及び部落強化町民総決起大会開催。テレホンガイドファクスタート。美幌大橋工事着工。ケンブリッジ・スミルヌイフ少年少女訪問。

- 8年(1996) 第4期総合計画策定。びほろ花フェスタ'96開催。近鉄ラグビー部合宿。資源ゴミ分別収集始まる。神奈川県松田町大南行列保存会42名来町。網走川多目的河畔公園滑走路完成。北中学校新校舎落成・創立35周年記念式典。「峠の湯びほろ」オープン。
- 9年(1997) 学校給食センター改築。サマーナイトフェスティバル開催。美有サミットIN美幌'97開催。110年記念式典、110年祭挙行。ニュージーランド・ケンブリッジ町と友好姉妹都市調印。美幌中学校開校50周年記念式典。
- 10年(1998) 美幌町在宅介護支援センター開設。'98北海道スカイスポーツフェア開催。台風による大雨被害。名誉町民山内正雄氏ご逝去(町葬執行)。国保病院改築工事着工。駅前バスターミナルオープン。美幌観光協会50周年記念式典。
- 11年(1999) 地域振興券交付。緑の苑ショートステイオープン。名誉町民中川壽清氏ご逝去(町葬執行)。老人保健施設アメニティ美幌オープン。お気軽に町長室・Eメール開設。美幌小学校新プール完成。柏ヶ丘野球場オープン。
- 12年(2000) 美幌高校定時制課程閉課。情報公開スタート。町立国保病院オープン。美幌みらい農業センター設置。美幌物産協会設立。美幌保育園1歳児保育開始。美幌小学校100周年記念式典。美幌バイパス高野交差点～美幌IC間開通。
- 13年(2001) 名誉町民三上勇氏ご逝去(町葬執行)。田中、報徳小学校が閉校。マナビティセンターオープン。峠の湯びほろ入浴者100万人達成。陸上自衛隊美幌駐屯地創立50周年記念式典。ターミナル物産館「ぼっぼ屋」オープン。東陽小学校開校50周年記念式典。
- 14年(2002) 美幌広域連玉葱集出荷貯蔵施設完成。美幌峠レストハウスオープン・道の駅登録。
- NPO法人美幌町体育協会設立。第1回市町村合併住民説明会開催。高齢者コンビニばじる北のまちづくり大賞受賞。地域用水広報館オープン。リリー山スキー場リフト設置。
- 15年(2003) シャキッとプラザ着工。NHKラジオ夏期巡回ラジオ体操開催。スターダストカーニバルでサンバ復活。ふるさと盆おどり復活。峠の湯びほろ入浴者延150万人達成。子育て支援センターオープン。
- 16年(2004) 美幌幼稚園が閉園。大相撲美幌場所開催。風速40m(観測史上最高)を記録。シャキッとプラザオープン。美幌郵便局新局舎オープン。陸上自衛隊美幌駐屯地の存続を求める地域総決起大会開催。
- 17年(2005) 児童センターオープン。美幌バイパス美幌IC～女満別空港IC間開通。子ども見守り隊設立。分庁舎解体。予算町民説明会開催。亜麻のふるさと研究会解散。ごみ有料化と戸別収集開始。FSC森林認証を取得。昭野大橋開通。
- 18年(2006) 電話の市外局番が4桁に変更。石田正子選手がトリノオリンピックに出場。美幌医師会付属准看護学院が閉校。グループ制導入。NPO法人「ひまわり保育園」が開園。地域包括支援センターが設置。
- 19年(2007) 上美幌小学校が閉校。統一地方選挙が行われる。議員定数4議席減り14議席に。美幌120年祭挙行